

2020年版 アスパラガス雑草防除基準及び農薬・除草剤使用基準

1. 雑草防除基準

散布時期	処理法	薬剤名及び10a 当り使用量	摘要
萌芽前	全面散布	ロロックス 150~200g またはゴーゴーサン乳剤 30 200~400ml またはゴーゴーサン細粒剤 F 4~6 kg	ゴーゴーサン細粒剤 F 以外は、水 100ℓに於いて土壌水分が中庸な時に散布する。また、雑草が既に生えている場合は、水 100ℓ当りザクサ液剤 300~500 ml (収穫前日、2 回以内) またはプリグロックス L を 1000ml (収穫前日、3 回以内) の割合で使用する。(展着剤は不要、収穫打切後散布は畦間処理、アスパラガスにはかけないこと) センコル水和剤を使用する場合は、薬害回避のために降雨前に散布しない。
収穫打切後	全面散布	トレファノサイド乳剤 200~300ml または センコル水和剤 100~150 g	
	畝間散布	ロロックス 150~200 g	使用回数は全面散布で 1 回、畝間散布で 1 回以内まで。散布回数に注意。
10 月下旬	畦間処理	水 100~150 ℓに ザクサ液剤 300~500ml (収穫前日)	
特別散布 (収穫終了後)	畦間処理 スギナ対策	水 25~50ℓにタッチダウン iQ またはラウンドアップマックスロードを 1,500~2,000 ml の割合で使用する。	アスパラガスにはかけないこと。

2. 野ソ対策

①殺そ剤	散布量 (10a 当り)	農薬使用量	時期
ヤソヂオン	200~300 g	そ穴へ投入、5g 小袋 40~60 袋	春の雪融け後、秋は根雪前が重点防除時期
ラテミンリン化亜鉛 1%	60~120 g	そ穴へ投入、2g 小袋 30~60 袋	

②パチンコ(ラットキラー・板パッチン)を仕掛ける。③石灰窒素(防散) 10a 当り 60~100kg を茎葉刈取後、根雪前の露のある早朝に散布する。(除草兼用)

3. ナメクジ対策

品名	使用量・使用方法
スラゴ	10アール当り 1~5kg、1㎡当り 1~5g を株元の土壌表面に散布する。

安全・安心な農産物生産のために防除・使用基準を厳守しましょう。

4. アスパラガス農薬使用基準

薬剤名	対象病虫害名	希釈倍数	使用時期	使用回数	
アミスター20 フロアブル	茎枯病・斑点病・褐斑病	2,000 倍	収穫前日	4 回以内	
コサイド3000	茎枯病・斑点病・褐斑病	2,000 倍	—	—	
ジマンダイセン水和剤(露地のみ)	茎枯病・褐斑病(400~600 倍)・斑点病(500 倍)	400~600 倍	収穫終了後但し秋期まで	6 回以内	
ダコニール 1000	茎枯病・斑点病・褐斑病・疫病	1,000 倍	収穫前日	4 回以内	3 剤の 合計 4 回 以内
フォリオゴールド	疫病	1,000 倍	収穫前日	3 回以内	
プロポーズ顆粒水和剤	疫病	1,500 倍	収穫前日	3 回以内	
トップジンM水和剤	茎枯病・立枯病	1,000 倍	収穫開始 7 日前	5 回以内	
ベルコート水和剤	茎枯病・斑点病・褐斑病	1,000 倍	収穫 7 日前	5 回以内	
ベンレート水和剤	茎枯病・株腐病	2,000 倍	収穫前日	4 回以内	
ラリー水和剤	斑点病	4,000 倍	収穫前日	2 回以内	
シグナム WDG	茎枯病、斑点病、褐斑病	1,500 倍	収穫前日	2 回以内	IC ボルドー-60D
IC ボルドー-66D	茎枯病	50 倍 (収穫終了後)、100 倍 (収穫期間中)			との混用可否
ウララ DF	アブラムシ類・ネギアザミウマ	2,000 倍	収穫前日	3 回以内	○(直前混用)
カスケード乳剤	ハスモンヨトウ・オオタバコガ・アザミウマ類	4,000 倍	収穫前日	2 回以内	○(直前混用)
コテツフロアブル 劇	ハダニ類・オオタバコガ・ハスモンヨトウ・ジウホシクビナガハムシ・ヨウムシ	2,000 倍	収穫前日	2 回以内	○(直前混用)
コルト顆粒水和剤	ネギアザミウマ・カスミカメムシ類・コナジラミ類	4,000 倍	収穫前日	3 回以内	×
ディアナ SC	コナジラミ類(2500 倍)、アザミウマ類・ハスモンヨトウ・オオタバコガ	2,500~5,000 倍	収穫前日	2 回以内	×
モスピラン顆粒水溶剤 劇	アブラムシ類・アザミウマ類・ジウホシクビナガハムシ・コナジラミ類	4,000 倍	収穫前日	2 回以内	○(直前混用)
ダントツ水溶剤	アブラムシ類・アザミウマ類・ジウホシクビナガハムシ・カメムシ類	2,000~4,000 倍	収穫前日	3 回以内	○(直前混用)
プレオフロアブル	ハスモンヨトウ・オオタバコガ・アザミウマ類・ヨウムシ	1,000 倍	収穫前日	2 回以内	×
コロマイト乳剤	ハダニ類	1,000 倍	収穫前日	2 回以内	×
アディオフロアブル	ヨトウムシ・ハスモンヨトウ	1,500 倍	収穫前日	同一成分のため 2 剤 合わせて 3 回以内	○(直前混用)
ガードベイト A	ネキリムシ類	10a 当り 3kg	収穫前日		—

5. アスパラガス除草剤使用基準

薬剤名	適用雑草名	10a 当り使用量	使用時期	使用回数
クロロIPC	1 年生雑草	水 70~100ℓ 250~300ml	培土後雑草発生前、但し収穫 21 日前	1 回
センコル水和剤	畑地 1 年生雑草	水 100ℓ 100~150 g	萌芽前~萌芽始期・収穫打切後(雑草発生前~4、5 葉期)	1 回
トレファノサイド乳剤	1 年生雑草(ツクサ科・キ科・ヤツリガサ科・アブラナ科を除く)	水 100ℓ 200~300ml	萌芽前・収穫打切後(雑草発生前)	1 回
ザクサ液剤	1 年生雑草	水 100~150ℓ 300~500ml	雑草生育期(萌芽前または畦間処理)・収穫前日	2 回以内
プリグロックス L 毒	1 年生雑草 スギナ	水 100~150ℓ 600~1,000ml 水 100~150ℓ 1,000~2,000 ml	雑草生育期(畦間処理)但し収穫前日	3 回以内
ロロックス	1 年生雑草	水 70~150ℓ 150~200g	萌芽前(雑草発生前~発生始期)(全面散布)	全面散布は 合わせて 1 回
	1 年生雑草	水 100~150ℓ 150~200g	萌芽始期但し、収穫前日まで(全面散布) (雑草発生前~発生始期)	
	1 年生広葉雑草	水 100ℓ 150~200g	生育期但し、収穫前日まで(畦間・株間処理)	1 回
タッチダウン iQ	スギナ	水 25~50ℓ 1,500~2,000ml	雑草生育期(畦間処理)、但し収穫前日	3 回以内
	1 年生雑草	水 25~50ℓ 250~500ml	耕起 7 日以前まで(雑草生育期:草丈 30cm 以下)	
ゴーゴーサン乳剤 30	1 年生雑草	水 70~150ℓ 200~400 ml	萌芽前(雑草発生前)	合わせて 1 回
ゴーゴーサン細粒剤 F		4~6 kg		
ラウンドアップマックスロード	1 年生雑草	水 25~50ℓ 200~500ml	雑草生育期(畦間処理)・収穫前日または耕起前	2 回以内 (耕起前は 1 回)
	スギナ	水 25~50ℓ 1,500~2,000ml	雑草生育期(畦間処理)・収穫前日	